

ズバリ 町政を問う

9人が登壇

問 「ふるさと納税」で産業活性化を

答 早急にスタートできるように検討



酒向 弘康 議員

問 「ふるさと納税」に関する寄付の状況は。

答 総務部長 平成23年度以降、町外からの寄付はない。町内から町外へは平成26年度、106人で700万円である。

問 寄付者へのお礼の気持ちのあらわし方と手続き改善の進捗状況は。

答 広報誌とパンフレットを送る準備をした。また

インターネット申請を可能にしたが、ともに実績はなし。

問 「ものづくり・幸田」をアピールするため、町内企業の工業製品を全国に向け、制度の中で情報発信していくことが、地域経済と町全体の活性化

のきっかけづくりに繋がる。制度の積極的活用を。

答 町長 「ものづくりの町」「企業の町」をPRしながら、制度を最大限に活用し、早急にスタートできるように検討をしていく。



日本一の筆柿を全国へ

問 「防災基本条例」の制定を

答 県と調整し研究をしていく

問 「災害時相互応援協定」の4市町との防災・減災対策の成果と、新たな自治体との締結計画は。

答 総務部長 震度4以上の地震発生時は、被害状況を確認している。文化面、教育面で交流している。新たな計画はない。

問 総合防災訓練で「シエイクアウト、ボランティア支援本部設置訓練」が取り入れられたが、成果と新たな取り組みは。

答 消防長 みずからの命を守る基本的な動作や防災の意識づけができた。学区などの訓練にも実施したい。

問 JRガード下道路の増水状況を住民にもリアルタイムで確認できる映像情報の提供を。

答 建設部長 今年度、ウエブカメラの設置を予定している。錦田ガードは、三河湾ネットワークの負担で設置。仲田と鷺田立地は、町が設置していく。

問 耳の不自由な方が望む「メール119番」の実現を。

答 消防長 早い時期に整備していきたい。

問 「安全・安心の町・幸田町」として、防災基本条例の制定を。

答 町長 県と調整し研究をしていく。



中根 久治 議員

問 投票所の利便性向上対策は

答 学校整備事業で検討する



選挙投票所（中央公民館ホール）



これから3年と数か月間は、無投票で当選した町長と議員が町政の重要な部分に関わっていくことになる。この場面での町政のあり方を問う。

問 この現状を踏まえて、今後の行政をすすめるにあたり、どのように考えているか。

答 町長 町民に対し一生懸命働かなければならぬ

いと責任を感じている。町民福祉をすすめていく町長にとって「住民目線」とは何か。

答 住民の1人であることを忘れない立場で行政をすすめる。

問 「第6次総合計画」を策定する過程に地区懇談会を加える考えは。

答 企画部長 町政モニタ―会議、住民意識調査、

善良な町民は高い手数料にもかかわらずごみの発生を抑え、ごみ当番に出て、収集場所の管理をおこなっている。町民の努力に報い

問 指定ごみ袋は景品にできるか

答 調整し検討する

地域まちづくり研究会、声のポスト、パブリックコメントなど地域の声や意見を聞いている。意見交換は考えていない。

問 深溝学区の投票率が最下位を続けている。その分析と、利便性向上の方策は。

答 総務部長 深溝小学校の体育館が坂や階級を上がった所にあり、学校整備事業で検討したい。期日前投票の制度も利用していきたい。

るためにも指定ごみ袋の手数料を見直すべきと考える。

問 ごみ袋の価格ランキン

答 環境経済部長 1位常滑市、2位が本町である。一袋45円の内訳は。

答 作成費7・7円、売り払い手数料4円、処理手数料33・3円。

問 手数料を10円値下げすることはできるか。

答 今は考えていない。

問 紙おむつの必要な世帯などに対する減免制度の導入はできるか。

答 他の町の減免制度と比較し前向きに検討する。

問 草木の処分場を作ることはできるか。

答 処理に苦慮しており、調査研究していく。

問 指定ごみ袋を運動会の景品にしてよいのか。

答 安易に景品化するのは本来の主旨と違ってくるが、町民が多く参加する行事では制度のPRとして効果があると考える。

内部で調整し検討する。



鈴木 雅史 議員

問 交通渋滞緩和対策は

答 警察や企業と協議したい

町内における交通渋滞箇所および緩和対策を問う。

問 交通渋滞が慢性的に発生している場所はどこか。

答 **建設部長** 平日の朝で約20カ所を認識。野場西交差点、23号菅谷IC付近、安城幸田線の大草地区、三ヶ根駅付近などが著しく渋滞。

問 県道幸田石井線・須美福岡線が交差する野場西交差点も交通渋滞が発生しているが、この緩和対策は。

答 デンソー西尾では、深田交差点から永野ポンプ場方面より工場内へ。地元警察と協議して信号サイクルタイムを設定。

問 集落外に計画されている「野場1号線」があると思うが、現在どのような状況になっているか。

答 野場地区内902mの内、49%を幅員4mの舗

装で暫定利用。地区外は用地買収割合が6割である。

問 J東海道本線西側に

は、須美福岡線しかないがこれで十分と考えるか。

答 県道須美福岡線のバイパスとして、福岡中学校

まで1kmの用地買収済。菱池遊水地の整備に関連して、幸田駅西側の道路体系を検討したい。



野場西交差点付近

問 地域防犯組織に対する助成は

答 設立後も一定の支援を考えたい

町内には「自分たちの住む地域は自分たちで守る」という自主防犯組織があり、これに対する助成を問う。

問 町内の防犯組織の数・組織人数は。

答 **総務部長** 自主防犯活動団体13団体。会員数690人。

問 防犯組織の設立支援の内容はどのようなものか。

答 1団体1回限りとして4万7000円の補助金。県よりベスト、帽子、腕章、発光警戒棒など配布。

問 設立以後の支援をおこなっているのか。なかったら今後の支援はどのように考えるのか。

答 更新に対する補助はしてない。今後一定年数を経過した団体に活動資材の提供を考えたい。

青パトのガソリン代補助は、他市町の状況を見て検討したい。

問 防犯活動には色々な形態があると思うが、青パトを使用し活動している台数は何台か。

答 青色回転灯は、普通自動車10台。軽自動車15台。青パト専用車1台の合計26台。



水野 千代子 議員

問 「空き家バンク」の創設を

答 前向きに取り組んでいく

平成27年5月「空き家対策推進特別措置法」が施行。全国の空き家は820万戸。住宅に占める割合は13.5%過去最高である。維持・管理や処分、利活用を含め以下を問う。

問 自治体の権限は。

答 **建設部長** 空き家の立入調査権の付与。特定空き家の認定。所有者に修繕や撤去を勧告・命令できる。

問 「特定空き家」の判断となるガイドラインと協議会の設置は。

答 空き家の実態を考慮し、必要に応じて検討する。

問 空き家戸数は。

答 500戸で3.4%。

問 担当窓口を明確に。

答 特措法を受け、庁舎内会議を設定し、住民に窓口を判りやすくする。

問 空き家を活用するために「空き家バンク」の創設を。

答 前向きに取り組んでいく。「空き家跡地」の利用を。

答 **町長** 幸田駅前通りの活用できる建物は、検討している。

問 「句碑」などHPで公開を

答 特筆すべきものは考える

「石碑」は、先人の苦勞や歴史を知る貴重な町の財産である。何らかの目的を持つて銘文を刻み建立したものを「記念碑」、俳句を刻んだものを「句碑」という。

問 「石碑」は何基か。

答 **教育部長** 石碑は約236基。その内句碑が8基ある。

問 「菱池開墾記念碑」「相見川開削之碑」などの「記念碑」、鷺田墓地にある陸軍少尉の「句碑」など、時代背景や内容を調査し、ホームページで公開を。

答 新たな発見とか、特筆するべきものがあれば、広報などで特集を組んだり、ホームページに掲載を考える。

問 文化の散歩道として「文化財ウォーキングマップ」に「句碑」の掲載を。

答 どれだけの情報が、「文化財ウォーキングマップ」に載せられるか、句碑の内容を検討する。

問 「こつたの民話」を合わせ、子孫に伝承を。

答 平成8年に「こつたの民話」を作成。平成24年度からは絵本「こつたの

民話を1冊ずつ作成してきた。1冊に2話を収録したもので、昨年3冊目の絵本が完成した。

「仮の世に 仮に紫陽花寺と呼ぶ」

伊藤柏翠（高浜虚子の高弟）
隣は柏翠の高弟で村松一平の句



本光寺山門前の句碑



大嶽 弘 議員

問 農家に対する行政の役割は

答 労力の省力化を支援する

農地の効用は、食糧の生産・生きもの保護・防災・景観による安らぎの効果がある。

農家の現状は、後継者不足で高齢者が農地を守っている。以下を問う。

問 現在の町内農地面積は、**環境経済部長** 平成24年度で1309ha。

問 10年後の想定面積は、**答** 農振の整備計画では、平成33年の目標値を1241haとしている。

問 農地保存の考え方は、**答** 農地の保存は、地域の安全・安心、水源涵養、また、農村の風景を保持するため必要と考える。

問 高齢者による夏の草刈り作業は苦しい。**答** 支援策は考えられないか。

答 多面的機能支払交付金制度を活用して、町内20の活動組織で草刈りや泥

問 上げに取り組んでいる。農家が夢や将来展望を語るための行政の役割は、

答 労力の省力化を支援し、楽に作業ができる環境づくりに努める。



あぜの草刈り

問 少年スポーツセンター設置を

答 児童館建設構想の参考としたい

将来を担う青少年の育成スポーツ振興策を問う。

問 誰にも自分の夢や希望がある。実現に向けての支援方法は、**答** **教育部長** 少年少女スポーツ教室、ユニバーサルホッケー大会、新春の駅伝大会などを実施しているが、体育の授業や部活動の充実を図る。

問 スポーツ振興策として、**答** スポーツ振興策として、**答** 児童館建設構想策定の参考としたい。

問 町の体育・スポーツの振興を図る業務で体育協会が補助を受けている。**答** 有名、有能な選手とか指導者との触れ合いは、子どもを意識や技術の向上となる。町のPRにもなる。考えは、

問 トップアスリートを招いて親子で運動に親しむ県の事業の活用を考えている。また、体育協会創立40周年記念講演の講師にも実現させたい。**答** 将来の児童館建設にあたり、少年ミニスポーツセンター併設の考えは、**答** **住民こども部長** 児童館建設構想策定の参考としたい。



足立 初雄 議員

問 体育館の今後の設置計画は

答 建設に向けさらに検討する



ハッピネス・ヒル・幸田

問 ハッピネス・ヒル・幸田の建設当初に計画されていた体育館や茶室など、今後の施設の充実を問う。

答 体育館と茶室が未だ建設されていないのはなぜか。

答 教育部長 バブルの崩壊と経済状況による。
問 体育館の今後の設置計画は。
答 具体的な構想や予算化にいたっていない。建設に向けてさらに検討する。

問 茶室は、是非、ハッピネス・ヒル・幸田の中で建設を。
答 将来構想の段階であり、場所を含め検討する。
問 老人の方への駐車場の優先対策は。

問 安倍内閣が農家所得倍増計画を掲げたが、町の対策は。
答 環境経済部長 農地中間管理機構や担い手育成など就農支援に取り組み、農地中間管理事業の内容は。

答 特別に駐車場を確保することは難しいが、シニア利用者の対応を含め、検討していく。
問 駐車場を立体化し用地の有効利用をする考えは。
答 費用面を含め、これからの研究課題とする。

問 耕作放棄地の状況とその対策は。
答 農協などと連携し解消に努める。
問 6次産業化はリスクが高い。農家の指導や施設設置の考えは。
答 町独自の産業活性化支援補助や、専門家による技術指導を受け、事業の推進を検討する。

問 6次産業化の施設設置の考えは

答 技術指導による事業推進を検討

国や県の政策のすき間を埋めるのが町政の役割と考えるが、町の農業政策を問う。



志賀 恒男 議員

問 幸田駅前広場の構想の中身は

答 バリアフリーで東西の一体感を

幸田駅前広場の基本構想策定と都市計画マスタープランにある幸田駅橋上化の計画を問う。

問 橋上化の整備主体は、町と民間・住民とある。具体的対象は。

答 (建設部長) JR東海など協議をすすめたい。

問 駅橋上化の事業計画は、平成28年度以降に事業化を目指す位置づけ。

答 駅前広場の基本構想の中で、駅橋上化への配慮は。

問 歩行者が自由通路で東西をつなぐ型が基本。

答 駅前広場の基本構想の中身は。

問 人の流れ、人のたまり場が基本的要素になる。人に優しいバリアフリーで東西の一体感を確保。

答 基本構想のコンセンサス作りは。

業者、利用者の意見をもとに今年度中に策定したい。

問 駅前広場に対する町長の思いは。

答 (町長) 町の表玄関として駅を降りてホッとすまじ、そんな空間をつくらせたい。

問 雇用促進住宅の譲渡受け入れを

答 検討して答えを出していきたい

政府の地方活性化の方針を受け、幸田町総合戦略を策定することになった。



雇用促進住宅

問 総合戦略の基本的内容は。

答 (企業立地監) 町の特徴や地域資源を生かした施策立案。将来の人口減少の克服など。

問 周辺の市と連携した活性化の検討は。

答 近隣市の情報は重要だ。次世代産業創出事業を実施し、町の独自性を重点に検討していきたい。

問 観光や史跡の分野の協業は。

答 (環境経済部長) 3市1町の観光ネットワーク協議会と、新たに発足した9市1町の協議会と協働。

問 今まで大学や企業と活動してきた成果の取り込みを。

答 (企業立地監) 名大の低温プラズマ科学技術の研究開発を予定している。

問 六乗の雇用促進住宅は、120戸ある。現在ある空き60戸を活用した子育て支援を。

答 (副町長) 総合戦略の策定の中で考えたい。

問 国から雇用促進住宅の譲渡を受ける考えは。

答 (町長) 廃止の流れだが、子育て支援、定住促進施設として内部で検討して答えを出したい。



丸山 千代子 議員

問 戦後70年に非核平和宣言を

答 対応していきたい

5年に1度の核不拡散条約(NPT)再検討会議が国連本部で開かれ、日本から核兵器全面禁止の署名633万余を届け、核兵器の非人道性を訴え全面禁止を主張した。

被爆国である日本政府こそ、核兵器廃絶の先頭に立つべきである。

同時に、草の根から憲法9条を守り戦争法案に反対するためにも、平和を守る取り組みを問う。

問 戦後70年の節目に「非核平和宣言」を。

答 **町長** 70周年という節目で、県内の約7割の市町村が非核平和宣言を可としている。そのような対応をしていきたい。

問 戦争体験など風化させることなく後世に伝える考えは。

答 **企画部長** 原爆パネル展を8月11日から19日までの9日間、図書館ギャラリーで開催を予定。原爆に関する本の展示もあわせて実施。

問 平和行政の推進を。

答 11月9日から10日に開催される平和首長会議、内加盟都市会議に加盟し、

初めて参加を予定している。平和行政を推進していきたい。

問 尾浜川改修と環境整備を

答 部分的な改修で安全な水辺を

尾浜川は、荻を源流として、中央学区を流れ、光明寺川との合流から下流域は一級河川である。

市街化の中であり、上流から下流までを改修し、自然との共生、親水ゾーンで水辺の魅力を創出する取り組みを問う。

問 工事車両などで護岸の崩落と排水汚濁がある。調査を。

答 **建設部長** ガードレールが傾いているなど、護岸の状況を把握し、県に補修を要望する。汚水の影響は県の環境保全課と廃棄物対策課が、現地確

認の結果、基準以下である。

問 川床の草、立木の繁茂などの環境整備を。

答 川床の草刈りなど、発注準備をしている。

問 一級河川は県管理であり改修要望を。

答 低水護岸、局部改修を含め、川床の土砂堆積のしゅんせつも要望していきたい。

問 子どもたちが安心して水と親しむことができる

環境づくりと親水ゾーンの整備を。

答 親水ゾーンの面的整備は難しい。大規模改修ではなく、子どもたちが近寄っても安全な水辺であるよう、部分的な対応で県と協議していく。

そのほかの質問項目

- 地域交通の充実
- 子宮頸がんワクチン被害調査



住宅地を流れる尾浜川



伊藤 宗次 議員

問 駅前区画整理地権者と膝交えよ

答 話し合いながらすすめる

問 2年近く駅前区画整理事業は時計が止つたままだ。なぜだ。

答 建設部長 区画整理推進と地域活性をすすめるため相談中。

問 町の玄関の駅前区画整理地内にペンペン草が繁茂する。まさに異状とは思わぬか。

答 建物移転含め事業推進中。まだ4街区の土地利用示せる状況にない。

問 言い訳三昧では住民は理解しない。

答 4街区は信用金庫の土地利用を含め地権者と交渉中。

問 目に見える事業どうすすめる。

答 話し合いと反省をもとにすすめる。

問 Aブロック・Bブロックだけが事業ではない。問題と課題の所在はどこにある。



幸田駅前

答 商業集積・住宅などを含む高度な土地利用。

問 ヤケドしてでも全体の合意得る覚悟と決意は。

答 踏み込んで話し合いをすすめていく。

問 駅前だから賑わいでなく、良好で良質な住宅地も選択肢の一つだ。

答 駅前の活性化には商業施設は必要。都市型住宅も視野に入れる。

問 全地権者と膝交えた合意づくりを。

答 話し合いながらすすめていく。

問 子どものインフル接種を無料に

答 時期未定

問 子どものインフルエンザ予防接種は任意だからと実態つかまぬでいいのか。

答 健康福祉部長 予防接種は、13歳未満の子どもに2回接種している。

問 対象者数は。

答 6カ月以上13歳未満の対象者は5719人。

問 町長のマニフェストにあるなら無料に。助成すべきだ。

答 町長 子育て支援は重点的におこなうがそのこ

問 とは時期未定。

答 健康福祉部長 安城市・北名古屋市と飛島村。公務員共済は助成している。国保加入者は助成しない。まさに公務員天国だ。

問 加入組合などで取扱いの方針が異なるもの。

答 健康福祉部長 高年齢者と同じ1000円自己負担の場合、町の予算額は。

問 1143万8000円。

答 子育て支援を言葉だけにしない取り組みを。

問 できる範囲で定められた法などに従い施策を実行する。

政務活動費 のゆくえ

政務活動費とは、議員が通常の議会活動とは別に、それぞれの会派または議員個人が議員としての知識向上や見聞を広めたり、資質向上を図るために交付される調査研究費です。

平成26年度の交付額は1人年額6万円となっており、研究研修費、調査旅費、資料費、広報費、広聴費、陳情活動費などに限定され、収支報告書にはすべての証拠書類などの写しを添えて報告することとなっています。

平成26年度の主な使途は、次のとおりです。

会 派	所属議員名	事業費	交付額	主な使途	活動内容等
幸風会	池田 久男 浅井 武光 内田 等 笹野 康男 鈴木 雅史 志賀 恒男 杉浦あきら 中根 秋男	49万3964円	48万円	研究研修費 (市町村職員中央研修所) 調査旅費 (京都府福知山市)	<ul style="list-style-type: none"> 市町村議会議員特別セミナー 2015年の経済見通しとアベノミクス 全世代型の社会保障制度 地方創生 福知山市の防災 防災体制 災害時相互応援協定 他
清友会	夏目 一成 都築 一三 中根 久治	18万3460円	18万円	調査旅費 (静岡県浜松市・静岡市・駿東郡、長崎県島原市)	<ul style="list-style-type: none"> (株)富士エコサイクル 静岡油化工業(株) (株)エフビコ東海選別センター 島原本光寺、島原半島ジオパーク 他
—	伊藤 宗次	8万 328円	6万円	調査旅費 (静岡県掛川市、三島市) 資料費 (幸田町住宅地図) 広報費 (コピー機トナー、幸田民報折込)	<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量化と資源化 あんしんAEDステーション24設置事業
—	丸山千代子	6万7040円	6万円	研究研修費 (全国市町村国際文化研修所) 資料費 (図書)	<ul style="list-style-type: none"> 議会改革の動向、進め方 議会への住民参加と情報公開 地方行政の動向 人口減少と自治体の取り組み 地方分権制度の展望 他
—	水野千代子	7万 30円	6万円	研究研修費 (全国市町村国際文化研修所) 調査旅費 (埼玉県さいたま市、東京都墨田区、三重県四日市市、千葉県千葉市 他)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者サポート制度 雨水利用施策 地域包括ケアシステム 学校給食、食育推進 ちば市民協働レポート 他
—	酒向 弘康	6万4772円	6万円	資料費 (図書 他) 広報費 (パソコン周辺機器)	<ul style="list-style-type: none"> あなたもできる議会改革 (改革ポイントと先進事例 他)
—	大嶽 弘	7万4826円	6万円	幸風会と同じ	幸風会と同じ